

## 安全運転のために

★正しいドライビング・ポジションは急カーブや振動に対して身体がふらつかず、両手両足を敏速かつ、正確に動かせる姿勢です。

また前後の視界が十分確保できる、長距離運転にも疲れない姿勢であることも大切です。(シートの調整の項目参照)



### ★シート・ベルトは

必ず装着して運転しましょう。特に腰ベルトは腰骨の位置にピッタリと装着しましょう。(シート・ベルトを忘れずにの項目参照)



腹の位置にかけると万 one のとき身体にくいこみ危険です。

★ヘッド・レストの位置はヘッド・レストの間はにぎりこぶしの幅以上あげないようにしましょう。

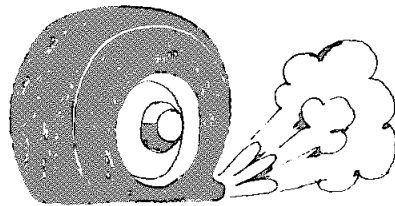


ヘッド・レストとのすき間が多いと万 one のとき危険防止に役立ちません。

# これだけはぜひ！ 守りましょう

### ★タイヤは

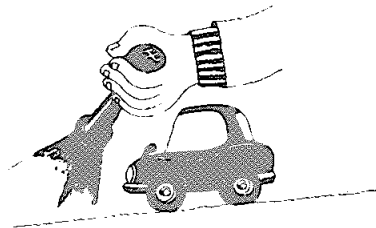
1. 走行前に必ず空気圧を点検しましょう。(タイヤの空気圧の項目参照)
2. 摩耗して溝が浅くなったら取り替えます。溝の深さの項目参照)



走行中、パンクやバーストを起こしやすくなり危険です。

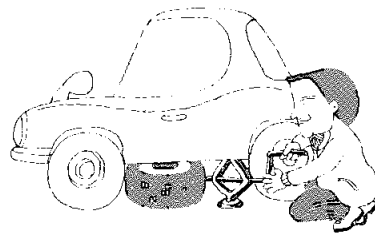
★長い坂道を下る場合はエンジン・ブレーキを活用しましょう。(ブレーキ、クラッチの使い方の項目参照)

フット・ブレーキを踏み続けるとブレーキの効きが悪くなる恐れがあります。



### ★ジャッキを使用するときは

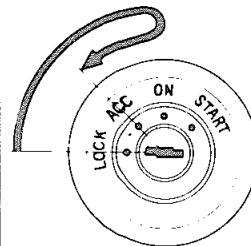
- 所定の位置に確実にセットしましょう。輪止め、パーキング・ブレーキを忘れず。(パンクの処置の項目参照)



ジャッキがはずれると車が急に傾き大変危険です。

★エンジンを停止して移動する場合は(けん引される場合など)

1. エンジン・スイッチは一度ONにしてからACCの位置にしましょう。(エンジン・スイッチの項目参照)



走行中は、キーを絶対にロックの位置にまわさないでください危険です。

2. ブレーキは、ほとんど効きませんので通常より大きな踏力が必要です。

★走行中エンジン・キーを切らないでください。

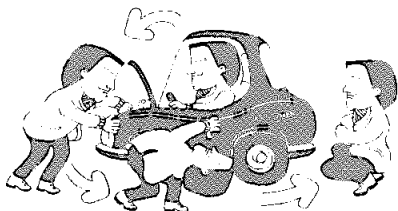
1. ブレーキ・ブースターが作用しないのでブレーキの効が悪くなります。
2. パワー・ステアリング付き車はハンドルの操作が重くなります。

### ★駐車するときは

1. 枯草等の燃えやすい物の上に、駐車しないでください。
2. 密閉した車庫内で長時間エンジンをかけたままにしないでください。ガス中毒を起こす危険があります。

### ★仕業点検は

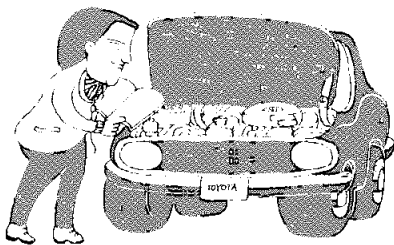
故障を未然に防ぐため、必ず行ないましょう。（仕業点検の項目参照）



### ★定期点検は

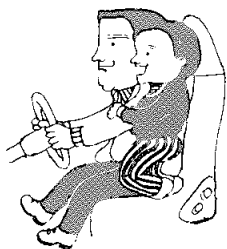
整備手帳にもとづいて必ず行ないましょう。

車の性能を維持し安全に運転していただくためには大切なことです。



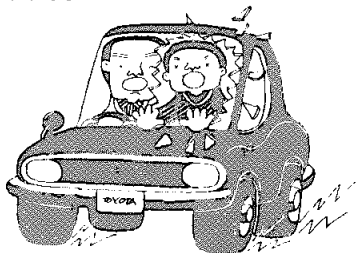
## お子様を乗せる とき

★なるべくおとなと一緒にリヤ・シートにすわらせましょう。

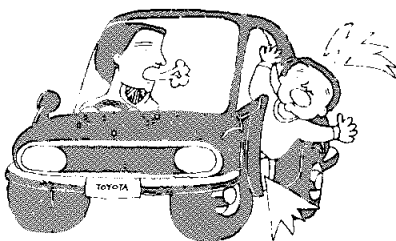


助手席ではドライバーのじやまになります。

万一のとき放り出される心配があります。



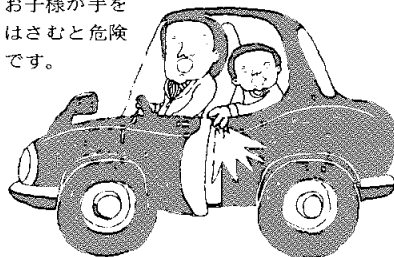
★ドアのロックを確実にしましょう。



ロックをすれば、ドア・ハンドルをいじっても、ドアは開きません。

★必ずおとながドアの開閉をしましょう。

お子様が手をはさむと危険です。



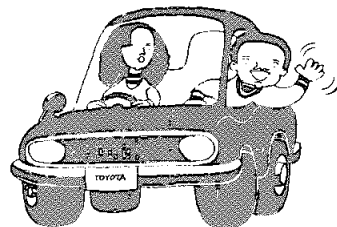
★車から離れるときは、お子様と一緒に連れてゆきましょう。



室内にお子様を残しておくと思いがけない事故が起きる場合があります。

★窓から顔や手などを出させないようにしましょう。

窓から乗り出すと思いがけない、ケガをすることがあります。



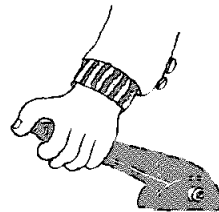
対向車や後続車に迷惑をかけたままマナー違反です。

## 故障を防ぐために

★パーキング・ブレーキ・レバーは

走行する前に必ず確実にもとまでとし、インジケーター・ランプが消灯するのを確かめましょう。

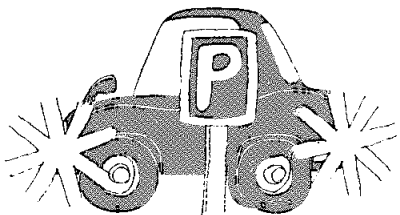
（パーキング・ブレーキ・レバーの項目参照）



ひいたまま走行するとひきずりを起こしブレーキが効きにくくなります。

### ★バッテリーは

完全充電でもエンジンを停止してランプ類を使用すると消耗が激しいものです。

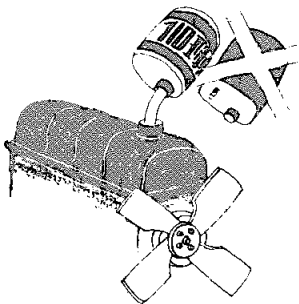


バッテリーがあがりエンジン始動ができなくなることがあります。

### ★オイルの補給は

同品質か、それ以上のオイルを使用しましょう。

(トヨタ純正キャスル製品の項目参照)

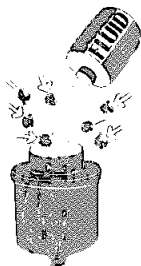


質の異なったオイルを補給すると性能が低下する恐れがあります。

### ★ブレーキ、クラッチ・フルードを補給するとき

同品質、同銘柄のフルードを必ず使しましょう。なお、タンク内にゴミがはいらないように十分注意しましょう。

(トヨタ純正キャスル製品の項目参照)

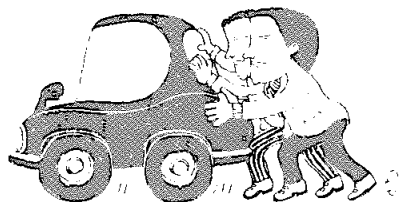


ゴミがはいるとブレーキが効かなくなり、クラッチは切れなくなることがあります。

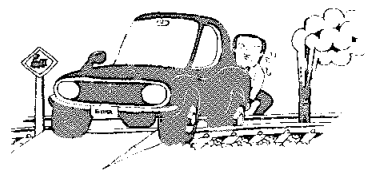
## 万—のために—

### ★エンストして始動できなくなったときは

1. 付近に人がいる場合は安全な場所まで押してもらってください。



2. マニュアル・トランスミッション車の場合、踏み切りなどで急を要するときは、スターターで抜け出してください。ギヤをセカンドまたはサードに入れ、スターターをまわします。このときクラッチから足を離しておきます。また平坦路の場合は、トップにすると早く抜け出せます。



踏み切りなどで抜け出せない時、列車が来そうになったら保安炎筒で合図してください。

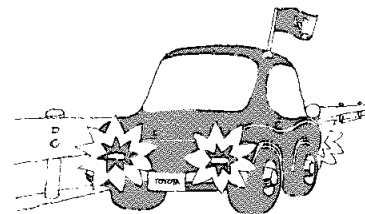
### ★高速走行中、パンクやバースト(タイヤの空気が急に抜けること)したときは

ハンドルをしっかりとって急ブレーキは踏まないようにしましょう。

急ブレーキを踏むとハンドルを強くとられ、車が横転することがあります。

### ★故障したら

車を路肩に寄せハザード・ウォーニング・ランプを点滅させるか、または故障車とわかるように赤旗などを目につくよう表示します。



★遠出して故障し、なおせないときは整備手帳のサービス網をご覧になって、最寄りの取扱販売店へ連絡しましょう。